









# 泉門池光徳線歩道



この歩道は、光徳から泉門池まで、深川郡に数峰ヶ原の自然を観察する歩道です。

ここから 光徳まで 約22km 約30分  
泉門池まで 約15km 約30分  
奥海まで 約28km 約1時間  
新海まで 約44km 約1時間40分  
小田代ヶ原まで 約22km 約40分  
小田代ヶ原展望台まで 約36km 約1時間10分  
を歩きます。

自然の保護のため、歩道からはずれないようご注意ください。

 群馬県 栃木県

お願い

遊歩道に入るときは、お持ちの持ち物  
を整理してください。







注意  
 ・戦場ヶ原湿原の植生を保護するため、湿原内への立ち入りはご遠慮下さい。  
 ・小田代原にあるシカ侵入防止柵は、1998年に栃木県で設置したものです。

## 戦場ヶ原 シカ侵入防止柵について

日光では1984年以降シカが増加し、戦場ヶ原もシカによって花がだんだん減り、2000年頃には「戦場ヶ原から彩りがなくなった」とまで言われました。

それまで、栃木県と日光市のシカの密度を下げる対策が行われ、密度も下がってきていたにもかかわらず、戦場ヶ原の湿原植生が悪くなる一方であったため、2001年～2002年の冬に、環境省は緊急に「シカ侵入防止柵」を作りました。柵は林野庁と二荒山神社のご協力を得て設置しています。

この柵は、いずれ撤去します。また、柵の効果を見るため、環境省では種々のモニタリングを行っています。







2020  
2020年10月1日  
2020年10月1日











# 土砂がたまった川

逆川が大量に運んできた土砂が湿原にたまると、湿った土に強い木が生え始めます。このあたりに多いズミは、川原や湖畔、湿原のまわりなど水位の高いところに多く生える木です。

ズミは別名をコナンまたはコリンゴとも言い、6月旬にリンゴやナシと同じような白い花を咲かせます。

日光自然の道

湿原の変化をみるコース



■ズミ林の分布



環境省

















# 戦場ヶ原周辺の植物

アヤメ

(あやめ科)



全国の山野にはえる多年草。特に群生する。

イヌコリヤナギ

(やなぎ科)



湿地にはえる落葉小樹。葉は早巻、1~3cmの葉を出す。

イブキトラノオ

(さざんか科)



草地にはえる多年草。葉は直立し、50~80cm。6月下旬から長く咲き続ける。

ウマノアシガタ

(きんぽうがい科)



6月下旬、花弁に光沢のある小さい黄花を咲かせる。

ウメバチソウ

(ゆきおしとこ科)



8月中旬~9月上旬に蜂のような白花を一茎にひとつ咲かせる。

ズミ

(ばら科)



6月中旬~下旬の日~薄紅色の小花をつけ、秋の赤い実も美しい。

ツマトリソウ

(まぐらそう科)



10cmほどの多年草。7月、直径1.5cmくらいの白花を並べつける。

ツルコケモモ

(つづみ科)



ミズゴケの中にはえる20cmほどの葉緑小樹。花は6月下旬。

ハクサンフウロ

(ふうろそう科)



葉は40cmくらいで直立する。3~4cmの美しい花を咲かせる。

ホザキシモツケ

(ばら科)



湿地にはえる落葉小樹で、地下根を伸ばし、葉生する。

レンゲツツジ

(つづみ科)



径5~6cmの鮮やかなオレンジ色の花を6月下旬~7月上旬に咲かせる。

ワタスゲ

(かやつぐさ科)



湿地にはえる多年草。花は6月中旬、葉は球状の綿毛に包まれる。



# 戦場ヶ原周辺の鳥

ノビタキ



戦場ヶ原の戦場跡に生息して、戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。

オオジシギ



戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。

アオジ



戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。

シジュウカラ



戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。

カケス



戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。

アカゲラ



戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。

オスアカ



戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。

キセキレイ



戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。

アカハラ



戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。

ニューナイスズメ



戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。

キビタキ



戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。

ヒガラ



戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。戦場ヶ原の戦場跡に生息する。















# 林のできはじめ

日光自然ふれあいの道

湿原の変化を探るコース

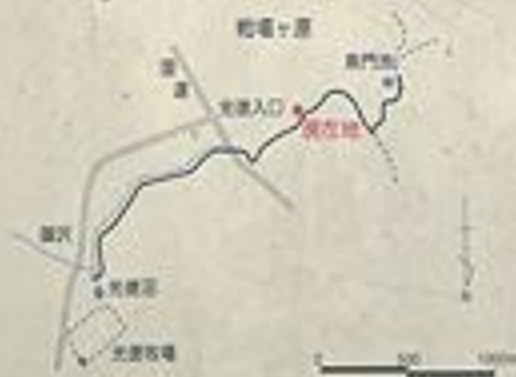
このあたりは、湿原に土砂がたまり始めたところで、背の低いシラカンバやイヌコリヤナギなどの木が生えてきています。国道に近づくほど土砂が厚くたまっていて、背の高い木が林をつくるようになります。



シラカンバ



イヌコリヤナギ



環境省





























## 時々水がたまる湿原

日光自然観察の道

湿原の変化を探るコース

このあたりは、土砂の流入が少なく、湿原の状態になっています。よく見ると、表面が平らではなく、凹凸があることがわかります。この草のもり上がったところを、「谷地坊主」と呼び、低いところには時に水がたまります。



谷地坊主



環境省

























## ❌ 赤い川 ❌

下にみえる流れの底が赤っぽい色をしてるのは、このあたりの湿原に含まれている鉄分が自然に出てきたものです。「赤い川」は赤沼に近い湯川沿いの歩道でも見られます。











AKANUMA · RYUZU FALLS  
赤沼・龍頭/滝









小口 南 山 道





# 日光自然ふれあいの道



環境省





日光自然の森の道

環境省



























AKANUMA · RYUZU FALLS

赤沼・龍頭ノ滝































# ラムサール条約登録湿地「奥日光の湿原」

RAMSAR SITE OKU-NIKKO-SHITUGEN



地球規模で自然資源の保全を目的した「特に水鳥の生息地として重要な湿地に関する条約（ラムサール条約）」の国際的に重要な湿地として、日光国立公園内の湖の湖、湯川、戦場ヶ原、小田代原 260.41haが、「奥日光の湿原」として、2005年11月8日に登録されました。

湿地の息み語りつつ、その恩恵を受けた賢明な利用を目指しています。

Nikko National Park encompasses the areas of Yukawa, Yukawa, Senjogahara and Otashirogahara. Whose 260.41 hectares in combined total are internationally acclaimed valuable wetlands. As such, the areas were collectively registered on November 8th, 2005 as RAMSAR SITE OKU-NIKKO-SHITSUGEN, JAPAN. The site is Officially recognized under the "Convention on Wetlands of International Importance especially as Waterfowl Habitat", also known as Ramsar Convention, which aims to conserve such precious natural resources on a global scale.

This Ramsar registration provides a vital impetus to continue our endeavors to conserve the blessings of these wetlands while pursuing a harmonious and prudent utilization of this gift of nature.

## 湯川 Yukawa



奥日光の湿原は、奥日光国立公園に属します。湯川湿原は、戦場の原にもある湿原に、ツツクスガ、ツツクスガもも等の植物が自生しています。

奥日光の湿原には、アサギツツクスガの群生が自生しています。奥日光の湿原は、奥日光国立公園に属します。湯川湿原は、戦場の原にもある湿原に、ツツクスガ、ツツクスガもも等の植物が自生しています。奥日光の湿原は、奥日光国立公園に属します。湯川湿原は、戦場の原にもある湿原に、ツツクスガ、ツツクスガもも等の植物が自生しています。また、戦場の原にもある湿原に、ツツクスガ、ツツクスガもも等の植物が自生しています。

The Wetland of Oku-Nikko are located in the northern part of Nikko National Park. It consists of 16 wetlands, including Yukawa, Senjogahara and Otashirogahara. The site is internationally recognized as a Ramsar site for the conservation of waterfowl and other wetland-dependent species.

Yukawa is not only a site of Japan's largest population of waterfowl, but also a habitat for various plants such as Japanese (Shibubiki) vegetation and various (Shibubiki) vegetation. The site is also a habitat for various plants such as Japanese (Shibubiki) vegetation and various (Shibubiki) vegetation. The site is also a habitat for various plants such as Japanese (Shibubiki) vegetation and various (Shibubiki) vegetation.

Especially worthy of mention is that the (Shibubiki) plant (Shibubiki) grows in the site as an ideal breeding ground for waterfowl, whose habitats of such species as Japanese (Shibubiki) vegetation and various (Shibubiki) vegetation have been confirmed.

栃木県日光市



# 夏でもいるマガモ

日光自然観察の道

深流の鳥ウォッチングコース

泉門池で泳いでいるマガモは、本来冬になると渡ってくる鳥なのですが、奥日光では一年中すみついて繁殖しているものもいます。湯ノ湖や湯川、光徳沼などでも夏にマガモを見ることができます。



マガモ

L=59cm

ここのマガモは、人が近づくとエサをねだりに近づいてきますが、本来の野性が失われてしまうので、エサはやらないようにしましょう。



環境省





# 夏でキいるマガ

泉門池で泳いでいるマガモは、本来冬になると渡ってくる鳥なので、光では一年中すゑのみ



# 奥日光自然歩道案内



ここ奥日光には、図のような自然歩道があり、森林、湖畔、湖原などを歩きながら、奥日光の美しい風景や自然の佳境を充分観察することができます。ここから各地への所要時間は、下記のコースタイムを参考にしてください。

みなさん、かけがえのない自然を大切に、山火事を起こさないよう、火気には特に注意して下さい。

東京都 - 林野庁 - 栃木県

コースタイム







小田代ヶ原 2.1KM





小田代ヶ原 2.1KM





YUNOYAMA

湯元

1.7KM

湯

YUNOYAMA

湯元

32KM

湯

湯

ODASHIROGAHARA

小田代ヶ原

2.1KM



















# 湿原に咲く花

日光自然ふれあいの道

戦場ヶ原ウォッチングコース

湿原にはさまざまな花が咲きます。  
湿原全体に見られるもの、水の流れに沿って生えているもの、山ぎわに多いものなど、同じ湿原の中でも微妙な環境の違いによって咲く花の種類がちがっています。



バイケイソウ  
(ゆり科)



ノハナショウブ  
(あやめ科)



イブキトラノオ  
(たで科)



ハクサンフクロ  
(ふうろそう科)

最近ではシカがふえたために、かつてはお花畑といわれた戦場ヶ原でも、多くの花が食べられて減ってしまっています。



環境省





## 湿原に咲く花

湿原にはさまざまな花が咲きます。  
観察会で見られるもの、水の流れる  
場所に多い

日光自然

の森

観察会のご案内









A wooden post stands in the foreground, featuring a sign with a red circle and slash symbol and the Japanese text "あおきばし". The post is part of a rustic wooden fence. In the background, a wooden walkway leads through a forest with mossy trees and fallen leaves.

あおきばし







# 森林でみられる鳥

ミズナラ林・カラマツ林

戦場ヶ原を中心とする奥日光地区は、地形や植生が変化に富んでいるため、多くの野鳥が確認されており、全国でも有数の野鳥観察地となっています。

## 水辺でみられる鳥

湯ノ湖・湯川・奥門地



**カワガラス** L-7000  
水辺の留鳥。湯川下流の急流などに生息。羽を多く動かして泳ぐ。サケやイサナを食べる。



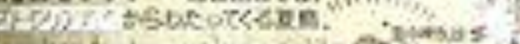
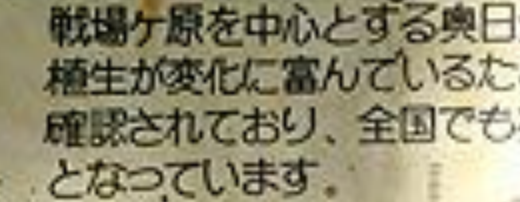
**ミズナラ** L-10500  
1000坪ほどの小さな島。水の辺のうすやうい林に生息。2月から4月が小さい体におおむね大きな鳴き声で楽しませてくれる。



**ヒタキ** L-1000  
高原の草原場にとまって、ときどき戦場ヶ原ではよく目立つ。



**ホオアカ** L-1000  
目の下のほおの部分がかみかみなのが特徴。戦場ヶ原ではレンゲツツシの花の上でさえずる姿がみられる。



**キビタキ** L-13500  
夏鳥。山の広葉樹林に生息する。明るく響く声でさえずり上グラツの声をまもることもある。



**コゲラ** L-1500  
キツツキ類の中でいちばん小さい。広葉樹林の中をカブチの群れと移動する。キーンときしめるような鳴き声。



**エナガ** L-2000  
秋にはカラマツと群れになって1000坪を飛びまわる。鳴き声はジュジュリと聞こえる。



**コマドリ** L-1400  
夏鳥。谷間の樹林帯に生息し、耳の長いほおが似たヒンカワラというさえずりをする。



**オオトリ** L-8000  
谷間に10坪のみに生息する。チーローウツツとさえずる。新木道の留鳥。



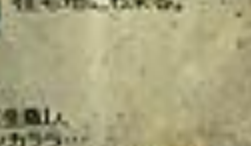
**アカハラ** L-23500  
やがたのある谷間に10坪に生息し、冬は平地におちいる。



**ニューナイスズメ** L-1400  
スズメの仲間。人家近くではなく山林で繁殖する。



**アオジ** L-1000  
山地で繁殖し、冬は平地。住宅地にも来る。



(野鳥作図)

|    |     |      |        |
|----|-----|------|--------|
| 凡例 | ▲ 水 | ■ 森林 | □ 草原   |
| P  | ● 湖 | ○ 田舎 | ○ 500m |
| ○  | ○   | ○    | ○      |







# 小さな老木

日光自然ふれあいの道

戦場ヶ原ウォッチングコース

湿原の中に小さなカラマツやシラカンバの木がたくさん見られます。幼木に見えますが、戦前に植林されたカラマツなど50年以上も経ったものが多いのです。湿原は木にとってきびしい環境なので成長が遅いためです。



カラマツ



シラカンバ



環境省

























# 谷地坊主

川の中をよく見ると、丸くもり上がった草の株が見られます。スゲの仲間が株をつくっているもので「谷地坊主」と呼ばれています。これは水位が変動するところに行けるもので、体が水につからないようにしているのです。

「谷地坊主」の谷地は湿地のこと。坊主はその形からきたものと思われます。



環境省



日光自然ふれあいの道

戦場ヶ原ウォッチングコース



谷地坊主



谷地坊主の高さと水位







谷地坊主

日光自然ふれあいの道

野場と原白オツキングコース







# 湿原の白いじゅうたん

6月中旬頃から湿原では、ワタスゲが白い綿毛をいっせいに開き、戦場ヶ原は真っ白いじゅうたンを敷いたように見えます。湿原の水分が多いところには、ワタスゲによく似たサギスゲも見られます。

ワタスゲは茎の先にひとつの大きな綿毛をつけるのに対し、サギスゲはシラサギを思わせる小さな綿毛を数個つけるので区別がつかます。



環境省



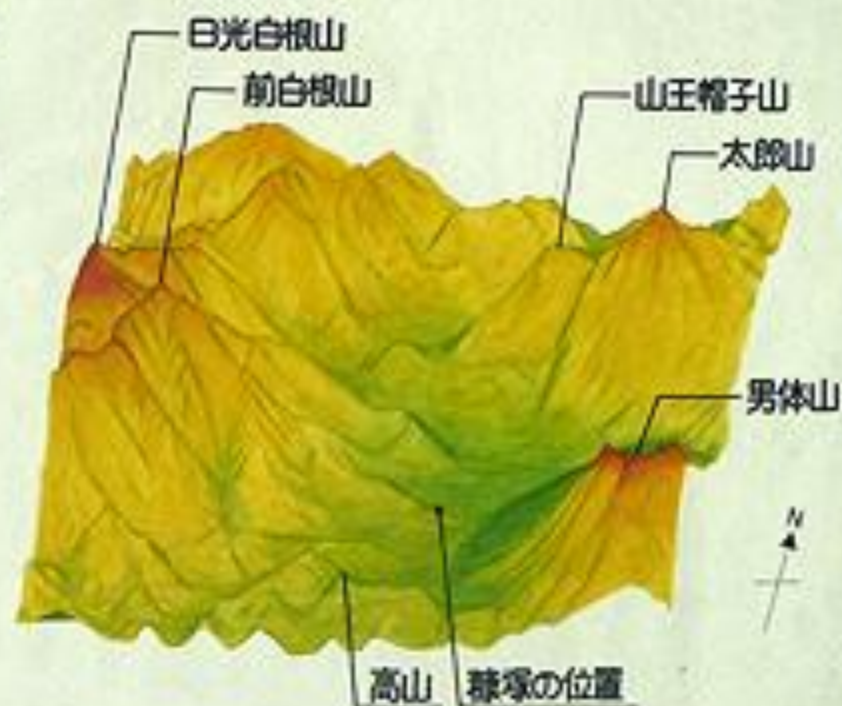


# 昔の山のなごり

日光自然ふれあいの道

戦場ヶ原ウォッチングコース

湿原のまん中に見えるなだらかな丘は「糠塚」と呼ばれ、かつては前白根山につながる尾根だったところ。その後男体山の噴火で火砕流が流れ出るなどして戦場ヶ原ができたために、島のように残されたものと考えられています。



戦場ヶ原ができる前の地形復元図

(福田一幹・平山光衛・中村洋一)  
宇都宮大学による



環境省

































# 日光自然ふれあいの道



0 500 1000m  
 徒歩所要時間(時:分)

**凡例**

- 車道
- 歩道
- Ⓟ 駐車場
- Ⓜ トイレ
- Ⓜ 低公害バス

※日光市道1002号域内では低公害バスの乗り降りは自由にできます。  
 ※運行期間 4月下旬～11月下旬



**クマ出没注意!**

環境省



大真名子山 2375.4m

男体山 2484.5m

三岳 1944.8m

五色山 2379m

外山 2204m

外山 沢

高山 1667.5m

中禅寺湖

西ノ湖

湯元温泉

光徳温泉

赤沼車庫

電送滝

戦場ヶ原

赤岩

光徳牧場

光徳沼

光徳入口

三本松

しゃくじ橋

鳳凰ヶ浜

千手ヶ浜

千手ヶ原

泉門池

青木橋

小田代原

ツメヶ沢

橋沢川

橋沢川

橋沢川

橋沢川

一周 1:10

一周 0:40

0:26

0:15

1:00

0:30

0:30

0:20

0:15

0:10

0:40

0:25

0:20

0:15

0:30

0:25

0:20

0:30

0:30

0:30

0:10

0:10

0:10

0:10

1:30

1:00

0:30

0:40

1:00

2:30

1:45

2:25

3:30

1:00



AKANUMA

← 赤沼 0.2km

RYUZUNOTAKI

龍頭滝 1.4km →

OOSAKI OGAWARA

小代原 2.1km →

















































